

日本全体が活力を維持するための政策立案ツール

「日本の都市特性評価 2020」発表

～ 国内 109 都市と東京 23 区が有する「特性」が明らかに ～

一般財団法人 森記念財団 都市戦略研究所は、「日本の都市特性評価 (Japan Power Cities, JPC)」の 2020 年版を発表しましたので、お知らせいたします。「JPC」とは、全国の 109 都市および東京 23 区を対象として、定量・定性データをもとに分析したもので、各都市が有する「特性」を明らかにする調査です。

調査の背景・目的

世界の総人口が今後も増加を続けていくと予測されている一方、日本では少子高齢化および急速な人口減少が見込まれています。そのような状況に直面してもなお、日本全体が活力を保ち続けるためには、各都市がそれぞれの“特性”を活かしながら都市づくりを進め、人や企業を惹きつける「磁力」と、魅力や強みを継続的に発揮し続ける「発展性」を維持していかなければなりません。

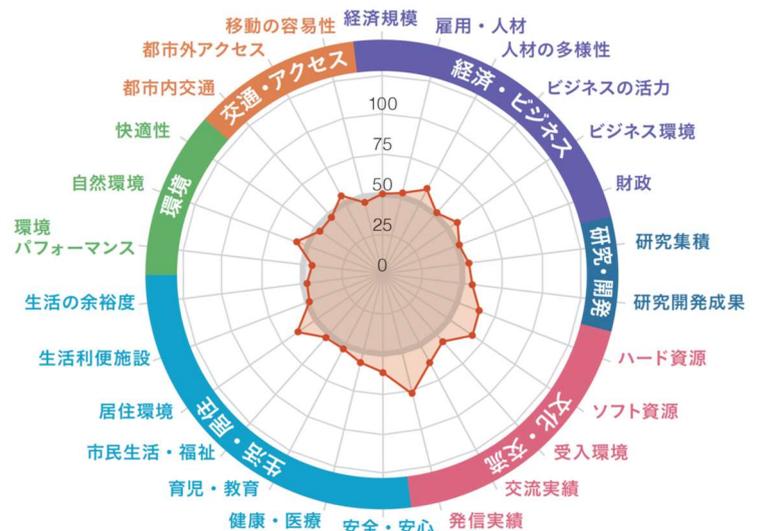
そのためには、各都市が現在の都市の力を客観的に把握した上で、次の時代に向けた都市戦略を立案し、実行に移していくことが求められます。そこで、「日本の都市特性評価」では、日本の各都道府県における主要都市を対象として、都市の力を定量・定性データをもとに相対的かつ多角的に分析し、都市の強みや魅力といった都市特性を明らかにすることを目的として調査研究を行いました。

調査結果一例 (金沢市)

その他の都市の調査結果は「日本の都市特性評価 概要版」をご覧ください。

- ・ 市内の広範なエリアが文化財保護法にもとづく「重要文化的景観」に位置づけられている金沢市は、文化・交流の「ハード資源」における景観まちづくりへの積極度や、「ソフト資源」の文化・歴史・伝統への接触機会、「交流実績」の行楽・観光目的の訪問の多さ、「発信実績」の魅力度・認知度・観光意欲度といった指標で高い評価を得ている。
- ・ 生活・居住の評価も高く、中でも「居住環境」や「安全・安心」といった指標グループで高評価を得た。
- ・ 金沢市は、歴史や文化に彩られた観光都市としての魅力と、生活する上での魅力を併せ持った都市であることがわかる。

都市の特性を明らかにした
レーダーチャート



本件に関するお問合せ

一般財団法人森記念財団 都市戦略研究所 担当: 浜田、大和

TEL : 03-6406-6463 FAX : 03-3578-7051 Email : iusall@mori-m-foundation.or.jp

市川委員長コメント

新型コロナウイルス感染症の影響により、国民の生活および経済活動は今までにない新たな局面での対応が必要となっています。このような状況下で、生活と活動の場である「都市」はどうなるのか。そうした問題意識のなかで、都市の現在についての分析はますます重要性を増しています。

JPC2020 で用いているデータは主に 2020 年 1 月～3 月に収集しており、今回の結果に新型コロナウイルス感染症が社会経済に与えた影響はまだ直接的には反映されておりません。しかし、今後も継続して評価を行ってまいりますので、JPC を通じて、この感染症の影響を受けた各都市の特性や魅力の動向を把握して頂き、各都市ひいては日本全体が活力を保ち続けるような政策の立案に役立つことを期待しています。

本調査の特徴

6 分野 26 指標グループ 83 指標による分析で都市特性を客観的に評価

都市を構成する分野として、「経済・ビジネス」「研究・開発」「文化・交流」「生活・居住」「環境」「交通・アクセス」の 6 つの分野を設定し、それぞれの分野において主要な要素を表す 26 の指標グループと、それらを構成する 83 の指標を選定。レーダーチャートを用いて視覚的に表現することで、各都市がどのような「特性」を有するのかを明らかにしています。

経済・ビジネス

研究・開発

文化・交流

生活・居住

環境

交通・アクセス

調査対象都市

対象都市は、国内の 109 都市と東京 23 区。109 都市は、1) 政令指定都市および 2) 県庁所在地の都市、3) 人口 17 万人以上かつ昼夜間人口比率が 0.9 以上の基準を満たす都市を選出しました。(昨年までは対象都市は 72 都市でしたが、今年は選定基準を変更し、新たに 37 都市追加し調査を実施しました。)

	政令指定都市	都道府県庁所在地 (政令指定都市を除く)	人口17万人以上、 昼夜間人口比率0.9以上の都市
109 都市	北海道 札幌		函館・旭川・釧路・苫小牧
	東北 仙台	青森・盛岡・秋田・山形・福島	弘前・八戸・郡山・いわき
	関東 さいたま・千葉・横浜・川崎・相模原	水戸・宇都宮・前橋・甲府・長野	日立・つくば・高崎・伊勢崎・太田・川越・熊谷・柏・市原・八王子・立川・府中・町田・横須賀・平塚・鎌倉・藤沢・小田原・厚木・松本
	東海 静岡・浜松・名古屋	岐阜・津	沼津・富士・豊橋・岡崎・春日井・豊川・豊田・安城・四日市・鈴鹿
	北陸 新潟	富山・金沢・福井	長岡・上越・高岡
	近畿 京都・大阪・堺・神戸	大津・奈良・和歌山	岸和田・吹田・茨木・八尾・東大阪・姫路・尼崎・西宮・伊丹
	中国 岡山・広島	鳥取・松江・山口	出雲・倉敷・呉・福山・東広島・下関
	四国	徳島・高松・松山・高知	
	九州 北九州・福岡・熊本	佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島	久留米・佐世保
	沖縄	那覇	
東京 23 区	千代田区・中央区・港区・新宿区・文京区・台東区・墨田区・江東区・品川区・目黒区・大田区・世田谷区・渋谷区・中野区・杉並区・豊島区・北区・荒川区・板橋区・練馬区・足立区・葛飾区・江戸川区		

森記念財団とは

森ビル株式会社の寄付により設立された、都市づくり・まちづくりに関する調査研究を行う一般財団法人。2008 年より継続して発表している「世界の都市総合力ランキング」は、世界屈指の都市指標として評価されています。都市空間のみならず環境・社会・政治・経済など様々な角度から都市の現状や将来に関する調査研究を行い、成果は世界に向けて発信しています。